

【 令和6年度 播磨農業高等学校 郷土伝統文化継承クラブ】

* 郷土伝統文化継承クラブとは？

郷土伝統文化継承クラブは、通称「歌舞伎部」と呼ばれており、加西市を中心に演じられていた「播州歌舞伎」を伝承、保存していくことを目標に取り組んでいます。

秋を中心に公演活動も行っており、地域の方を中心に広く知っていただけるよう練習に励んでいます。

* 現在の部員数

3年 畜産科	3名	
2年 農業経営科	1名	
1年 畜産科	2名	計 6 名

* 練習について

毎週水曜日を練習日とし、講師の先生に来ていただき稽古に励んでいます。

ただし、公演前では他の曜日でも練習しています。

* 部員よりメッセージ

こんにちは!播磨農業高校「郷土伝統文化継承クラブ」通称「歌舞伎部」です!部員数は少ないですが、講師の先生方にご指導いただきながら楽しく活動しています。化粧をし、着物を着てステージで公演できるのは貴重な体験ですので、ぜひとも味わってほしいです。興味を持った方は、一度本校歌舞伎棟に来てください!お待ちしております。

* 郷土伝統文化継承クラブの歴史

ここ加西市北条町東高室は、江戸時代に歌舞伎の座が起こった地です。文化文政のころには数多くの座が存在する最盛期を迎え、「高室歌舞伎」と称されるようになりました。

その後、明治大正と長く受け継がれていたのですが、昭和に入り急激に衰えてしまいました。そのとき、播州一帯に点在していた座を取りまとめ、「播州歌舞伎」と統一名で呼ぶようになりました。

この郷土の誇りともいうべき無形文化財を末永く守り続けるために、播州歌舞伎発祥の地に立つ播磨農業高校が、1984年(昭和59年)に「郷土伝統文化推進校」の指定を受けました。その後、1990年(平成2年)に学校敷地内に「歌舞伎舞台棟」を建てていただきました。その歌舞伎棟で日々練習に励んでいます。

